

## 笈之若葉

摩詰庵雲鈴著。正徳五（1715）年。刊本。出版地・京都  
出版者・小河多左衛門

『笈之若葉』は各地名が項立てされていて、掲載の文は野尻の項の次に位置するが、地名は立てられていない。

戸隠山に詣行程五里山に山をかさねてさかしき岩根を傳ひ半腹にのほれハ後ハ飛驒信濃の國をかきりて雪の山まはゆきほとに照わたり麓ハ春の半をあらハして草青み桃櫻盛也それより神前にぬかつき奥の院に詣その道一里雪ハたちまハキちに脛のうへこして家いつこに有共見えす老人云されは此神の爰に立せ給ふ事ハ有かたき故あるへしと聞ハ信心今さら也

神くし戸隠の花の恠檜 涼菟

戸かくしの尚奥ふかし雉子の声 雲鈴

註 古俳書 愛知県立大学図書館貴重書コレクション  
に画像がある。九コマ目。新編信濃史料叢書 第22

卷（連歌俳諧信濃紀行集）にも釈文がある。